

# 競技について

社団法人 日本フェンシング協会  
公益財団法人 全国高等学校体育連盟フェンシング部

## 〔1〕コール

試合は試合開始予定時刻より1時間まで早まる場合があります。

これに伴いコールの時間が早まる場合がありますので、DTからの放送やDT掲示板の発表等に充分注意してください。遅れた場合は罰則が適用されます。

### (1) 運営責任者が行うコール

第1試合は開始予定時刻の30分前に開始し、試合開始予定時刻の10分前に終了します。その後、試合予定順に従って放送で連絡し、コールを開始します。

(トーナメントは前回戦が終了次第、放送で連絡します。直ちにコールに応じて下さい。)

コールには監督が応じ、メンバー表を提出してください。

### (2) ピスト上のコール

監督・選手がそろって応じて下さい。

この時、出場選手は直ちに試合の出来る服装・用具が整っていないとなりません。

## 〔2〕選手の服装・用具

選手は、相手も自身も危険や不利益にならない適切な服装・用具をつけて出場すること。

### (1) ユニフォーム上下 350N

### (2) FIE公認マーク付き半袖プロテクター800N

### (3) FIE公認マーク付きマスク 1600N

### (4) 女子選手は(1)の胸当ての他に、上着の下に金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸につけること。

### (5) 上着の下部は選手のズボンを10cmは覆うこと。

### (6) グローブは前腕の半ばまで覆うものを使用すること。

### (7) 脛の出ない厚手の白いストッキングを着用すること。

### (8) ゼッケンは規定どおり付けること。

## 〔3〕用具検査

大会要項を参照、必ず用具検査に合格し、所定の検査合格証がついていること。

## 〔4〕試合進行

### (1) 学校対抗で左利きの選手が多いチームがプレジダンから見て左側のベンチに位置する。

### (2) 試合終了後、監督が記録確認の署名をしてください。

### (3) 事故及び病気の取扱いについて(痙攣も含む)☆

医師または技術委員会の判断により最大限10分間の休息を与えられる。ただし、休息は治療のみに費やす。

同日中の再休息は新たな事故が原因でない限り与えることは出来ない。

### (4) リザーブに指定された選手の交替

① 監督はプレジダンに対し、メンバー表提出時にリザーブに指定した選手と他の1選手との交替を1試合(学校対抗)に1回だけ請求できる。

② この場合、被交替選手は1試合(個人)は終了していなければならない。

③ 選手の交替は、当該試合の1試合前までに監督がプレジダンに通告しなければならない。

④ 被交替選手は、その試合(学校対抗)に再び出場することはできない。

- (5) 選手が事故等で試合途中で退場したときの選手の交替
- ① 監督は、技術委員会に対し代替りの選手を請求できる。
  - ② 被交替選手は、その試合（学校対抗）に再び出場することはできない。
  - ③ リザーブに指定された選手が代わって出場した場合は、メンバー表に記載されていなかった他の1選手は(4)の交替選手として出場することは出来ない。
- (6) 選手が試合順序を間違えて出場した場合  
誤った対戦順で行われた試合はすべて無効とし、正しい対戦順で行われた最終試合の次の対戦から再開する。
- (7) 試合が連続する場合の休息
- ① 学校対抗では最大限15分とする。

#### [5] 競技方法

- (1) 1チーム5名編成で、3名の選手によるリレー方式とする。
- (2) 男女とも45本勝負で試合時間は、予選プールは2分間、トーナメントは3分間（実働）とする。各対戦での試合順序は次のとおりとする。  
3-6 1-5 2-4 1-6 3-4 2-5 1-4 2-6 3-5 ☆
- (3) 予選プール
  - ① プール方式（4校によるリレー方式による総当たり戦）で行い、9試合目で45本を先取した方、または、9試合目が終了した時点で得点の多い方を勝ちとする。
  - ② 各プールの試合順序  
1-4 2-3 1-3 2-4 1-2 3-4 ☆
  - ③ 各プールより上位2校、合計16校がトーナメントに進出できる。
  - ④ プールの順位は次のとおりとする。☆  
ア. チーム勝数(V・E)÷チーム試合数(M・E)の指数の高いチーム  
イ. 個人総突数(TD・I)÷個人総被突数(TR・I)の指数の高いチーム。  
ウ. 個人総突数(TD・I)÷個人総試合数(M・I)の指数の高いチーム。  
エ. 上記すべてが同じ場合は、代表者1名により5本勝負の決定戦を行う。  
ただし、トーナメントの進出に必要な時のみ行うものとする。
  - ⑤ 何らかの理由で選手が2名になった場合は、そのチームを棄権とし最初から出場していなかったものとする。
- (4) トーナメント
  - ① 各対戦は、9試合目で45本を先取した方、または、9試合目が終了した時点で得点の多い方を勝ちとする。
  - ② トーナメントのシードについて  
I. 予選プールの成績により次の順序でシード番号を付ける。☆  
ア. チーム勝数(V・E)÷チーム試合数(M・E)の指数の高いチーム。  
イ. 個人総突数(TD・I)÷個人総被突数(TR・I)の指数の高いチーム。  
ウ. 個人総突数(TD・I)÷個人総試合数(M・I)の指数の高いチーム。  
エ. ア～ウが同じ場合は技術委員会において抽選で決める。  
II. 1～16までのシード番号による16チームを技術委員会はトーナメント表にシードする。

#### [6] その他

組合せ、試合開始時刻、ピストの変更等、技術委員会からの連絡事項を放送または、DT掲示板でお知らせしますので十分ご注意ください。

☆印：全国高体連が主催する大会の特別ルール

2013.1.18 改訂